

**Plan**

事業名	おちばの里親水公園管理事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		2 目	事業1	284	事業2	575
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	自然体験、親子ふれあい、仲間との交流を提供することにより、人づくり・仲間作りを推進する。								
事業の概要	自然豊かな「おちばの里親水公園」を生涯学習の場として維持管理する。								

**Do**

事務事業評価

(単位:千円)

		事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30 年度		おちばの里親水公園の維持管理	984	41
		合計	984	41

**Check**

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の 評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

**Action**

事業費				左記についてのコメント
今後の 方向性	維持	次年度	維持	経年により、一部劣化の見られる所も出てきており、必要に応じて修繕をしていく必要がある。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
おちばの里親水公園の維持管理	▶		
3か年の合計事業費	2,718		

**Plan**

事業名	放課後子ども教室推進事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般 会計	10 款	6 項		2 目	事業1	284	事業2	577
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	学校・家庭・地域が連携協力し、子どもたちを健やかに育てるために、社会全体の教育力の向上を図る。								
事業の概要	放課後に学校の教室を利用し、地域の参画を得て子どもたちに学習・スポーツ・文化活動・体験活動の場を提供し、安心安全な放課後教室を開催する。								

**Do**

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	放課後子どもプラン推進事業運営委員会の開催(2回開催)	61	0
	放課後子ども教室を市内6校の小学校で実施(述べ125回開催)	2,592	1,392
	その他	5	0
	合計	2,658	1,392

**Check**

成果指標	成果指標名(単位)			H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
		放課後子ども教室申込者数(人)			247	250	241
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など					
	必要性	A	国の施策であり、放課後の子供たちの居場所作りや学校・家庭・地域との連携を図るためには必要。				
	有効性	A	例年、参加希望が多く事業の目的に見合った成果を上げている。				
	効率性	B	同じ校区でも、その年により参加者数に波がある。周知方法や申込方法に改善の余地がないか検討を要する。				

**Action**

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	スタッフの確保、事業内容の充実、周知方法の研究等に取り組みながら継続する。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
放課後子どもプラン推進事業運営委員会の開催	▶▶▶		
放課後子ども教室を市内6校の小学校で実施	▶▶▶		
3か年の合計事業費	10,245		

Plan

事業名	青少年教育の推進事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		2 目	事業1	284	事業2	591
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	体験イベントを通して学習の大切さや自然のしくみ、人と人とのふれあいを深めることにより、青少年の社会性と道徳心を育成する。								
事業の概要	子どもたちの実体験や親子、子ども間の交流を通して青少年の健全育成を図るため、青少年の科学体験、親子体験教室、おちばの里とうげ祭り、コーちゃんフェスタ等を開催する。								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算額	内、特定財源
平成30年度	青少年の科学体験事業(アミニティプラザのメインアリーナで開催。15ブース設置 750人参加)	633	0
	親子体験教室(自然と親しみながら親子のふれあいを深めるため7回実施。参加者 659人)	400	0
	コーちゃんフェスタ(アミニティプラザで、11種類のチャレンジ種目を実施。参加者 456人)	300	0
	ものづくり体験事業(発明クラブ員86人、夏休み工作教室73人、親子たこあげ大会226人)	1,000	0
	写生大会の開催(春の親水公園(雨で中止)人、秋の親水公園41人、湖西連峰山開き76人)	39	0
	合計	2,372	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
		イベント参加者数(人)				2,728	3,000	2,367
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性	A	青少年に多くの体験やふれあい、学ぶ機会を提供し、子どもたちの社会性の育成を図るためには必要。					
	有効性	A	さまざまなイベントを通じて、多くの参加者に学ぶ機会を提供している。					
	効率性	B	常に、より効率的な運営を研究する必要がある。					

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	青少年に多くの体験やふれあい、学ぶ機会を提供し、子どもたちの社会性の育成を図るためには必要。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
青少年の科学体験事業			
親子体験教室			
コーちゃんフェスタ			
ものづくり体験			
写生大会の開催			
3か年の合計事業費	7,623		

Plan

事業名	青少年健全育成事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		4 目	事業1	287	事業2	587
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	青少年の健全育成を目指す								
事業の概要	青少年の健全育成のため、以下の事業を実施。 ・青少年問題協議会の開催 ・健全育成大会の開催 ・育成表彰の実施 ・「家庭の日」の普及 ・子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対し、活動の支援 ・明るい地域づくりと青少年健全育成活動を実践する明湖会への補助								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

		事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度		青少年問題協議会の開催(委員22名、年間1回)	76	0
		健全育成大会の開催(参加者 570人)	700	0
		「家庭の日」の普及(応募数 絵画 317点、標語 105点、詩 245点、合計667点)	33	0
		子ども会連合会の活動に対し補助をした。	200	0
		ボーイスカウト湖西協議会の活動に対し補助をした。	150	0
		湖西フロンティア倶楽部の活動に対し補助をした。	143	0
		明湖会の活動に対し補助をした。	2,846	0
		その他	222	77
		合計	4,370	77

Check

成果指標		成果指標名(単位)	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
		「家庭の日」作品応募数(総数)	766	1,000	667	1,000
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など				
	必要性	A	青少年の健全育成を図るためには必要。			
	有効性	A	青少年を取り巻く地域・学校・家庭が連携して健全育成を図ることにより、地域社会全体の機運の向上に資する。			
	効率性	B	常に、より効率的な方法を検討する必要がある。			

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	より充実した事業としていくため、実施方法の工夫と経費の節減を図っていく必要がある。補助事業については、常に、必要性和有効性の検証を行い精査していく。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
青少年問題協議会の開催			
健全育成大会の開催			
「家庭の日」の普及			
子ども会連合会の活動に対し補助する。			
明湖会の活動に対し補助する。			
湖西フロンティア倶楽部の活動に対し補助する。			
ボーイスカウト湖西協議会の活動に対し補助する。(R1から休止)			
3か年の合計事業費	13,419		

Plan

事業名	青少年育成センター活動事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		4 目	事業1	288	事業2	596
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	街頭補導活動、相談活動を行うことにより、青少年非行を防止する。								
事業の概要	青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動、青少年環境の浄化など関係機関と連絡調整を図り、青少年健全育成活動を行う。								

Do

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	青少年育成センター運営協議会の開催(委員14人、年間2回)	48	0
	街頭補導活動(青少年補導員46人を委嘱し、年間113回の街頭補導を実施。延べ616人参加)	977	0
	ヤングダイヤルこさい(電話相談窓口)を市民活動センター・西部地域センターに開設。	65	0
	その他	33	0
	合計	1,123	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
	補導実施回数(回)		113	140	113	140
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など				
	必要性	A	青少年非行を防止するため、街頭補導活動は重要である。			
	有効性	A	補導や声掛け事案の抑止として有効である。			
	効率性	A	事業費の多くは、補導員の活動謝礼、会議費及び出張旅費等であり、効率的に実施されている。			

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	拡大	青少年非行を防止するため、街頭補導活動は重要である。青少年を取り巻く新たな問題として、ネット被害への対策が重要となっている。R2以後、ネットパトロール(仮称)等、新たな事業の導入も検討していく必要がある。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
青少年育成センター運営協議会の開催	▶		
街頭補導活動の実施	▶		
ヤングダイヤルこさいを開設し、青少年の電話相談の実施	▶		
3か年の合計事業費	3,660		